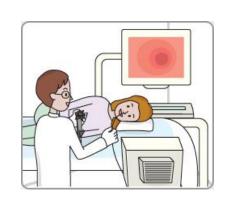


鎮静剤を使用することはできません。 検査の準備が長いので、口からのカメラの方と順番が入れ替わることがあります。

- ① 水薬を飲みます。(胃の中をきれいにするもの)
- ② 両鼻に通りを良くするスプレーをかけ、通りの良い方に 麻酔のゼリーを注入します。合計 10分 かかります。
- ③ 左横向きで、先生が画面を見ながら カメラを入れます。入らない場合は、 反対に入れます。 両鼻から入らない場合は口からのカメラに変更に なります。



・口に変更になった時は、マウスピースを使用し検査をします。 マウスピースは硬いため、強く噛むことにより、 歯に亀裂が入ったり、折れてしまう可能性があります。 万が一、歯が損傷した場合でも当院では責任を負いかねます。

食道・胃・十二指腸を観察し、5分前後で終わります。

- * 保険請求、自己負担金が発生することがあります。(医師が必要と認めた場合) 内容によっては、2~3日は刺激物やアルコールの摂取はできません。 内服薬の再開は、かかりつけ医の指示に従ってください。 癌の鑑別のための組織検査、虫体・魚骨などの除去、ピロリ菌検査
- ④麻酔を使っているので、検査後は1時間程飲食ができません。
 上を向いてのうがいや喫煙もできません。
- ※検査後にのどの痛みが2-3日続くことがあります。